

令和3年度（浅江中）家庭・地域・学校が一体となった教育活動推進のためのアンケート結果【後期】

【保護者用】

単位（％）		そう思う	そう思う どちらかと	そう 思い わな	ど ち ら か と	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	肯 定 的 回 答	否 定 的 回 答
1 地域・家庭・学校が一体となった取組の推進									
学校は	コミュニティ・スクールの取組やPTA活動等を通して、地域・家庭と一体となった教育活動を展開している。	47.2	46.8	0.0	2.2	3.9		93.9	2.2
本校の生徒は	あさなえネットの取組（地域に貢献する活動等）に積極的に参加している。	41.1	48.5	2.5	2.2	5.6		89.6	4.8
私は	学校の教育方針や活動方針等を踏まえ、保護者として参加できる取組や活動に積極的に関わっている。	13.0	55.0	17.7	7.8	6.5		68.0	25.5
2 小学校との連携強化									
学校は	小学校と連携しながら、さまざまな教育活動を通して、「15歳の浅江っ子像」（地域が大好きな子ども、自分に自信がもてる子ども、人とつながり、ふれあう子ども）の育成に努めている。	39.8	50.2	1.7	1.7	6.5		90.0	3.5
本校の生徒は	小学校で培った経験や学習内容を生かし、中学校でさらに力を伸ばそうと努力している。	35.1	56.7	1.3	1.3	5.6		91.8	2.6
私は	小学校段階から着実に成長していることや、力がついてきたこと等を、子どもと家庭で確かめ合っている。	26.4	58.0	9.5	2.2	3.9		84.4	11.7
3 これからの時代に求められる資質・能力の育成と学力の向上									
学校は	これからの時代に求められる力（知識・技能・思考力・判断力・表現力・自ら学びに向かう力）の育成に向けて、適切な指導を行い、生徒の学力向上を図っている。	28.1	58.9	3.0	1.7	8.2		87.0	4.8
本校の生徒は	日々の学習に真剣に取り組むとともに、自分の立場や周りの状況を見て「気づき・考え・行動する」ことができている。	33.9	57.0	2.2	1	6.1		90.9	3.0
私は	これからの時代を生きる子どもたちにはどのような力が必要なのか、子どもと話をしている（共有している）。	17.8	62.2	13.5	2.6	3.9		80.0	16.1
4 「美しい心」の実践化・態度化									
学校は	子どもの美しい心を育てるために、無言清掃やボランティア活動、読書活動に力を入れるとともに、一人ひとりの良さを認め合う教育を行っている。	39.8	47.2	2.6	2.2	8.2		87.0	4.8
本校の生徒は	「笑顔であいさつプラス1」（浅江小との共通目標）を実行できている。	28.3	53.5	5.2	3.0	10.0		81.7	8.3
私は	近所で（面識のある）小・中・高の子どもたちと出会ったときには、積極的に声かけ（あいさつ等）を行っている。	39.1	48.7	5.7	3.0	3.5		87.8	8.7
5 関わり続ける生徒指導の実践と生徒会活動の活性化									
学校は	「あゆみ」、「浅中トライ」、「生活アンケート」、「教育相談」を通じて、一人ひとりにしっかり関わる生徒指導を実践している。	40.7	51.1	0.4	1.7	6.1		91.8	2.2
本校の生徒は	自ら進んで生徒会活動や部活動、学校行事に積極的に取り組んでいる。	48.5	44.6	1.7	0.4	4.8		93.1	2.2
私は	家庭で、子どもに命の大切さや人権を尊重する意識や態度について話をしている。	35.9	54.5	6.1	1.3	2.2		90.5	7.4
6 特別支援教育における体制強化と指導の充実									
学校は	特別な支援を要する生徒について、一人ひとりの状況や能力に応じた指導を行っている。	24.2	45.9	3.0	0.9	26.0		70.1	3.9
本校の生徒は	授業や学校行事、部活動等の場面を通して、積極的に学年や学級の枠を越えた交流を行っている。	33.8	49.4	1.7	1.3	13.9		83.1	3.0
私は	共に生きる社会の実現に向けて、インクルーシブ教育システム※や浅江中の特別支援教育について理解している。	16.5	44.6	8.7	3.0	27.3		61.0	11.7

前期と同様、概ねの項目で、肯定的回答が80%を超えている。また、否定的回答が30%を超える項目はない。

肯定的回答の割合が高い中で、比較的低い数値（60%台）で表れたのは「6 特別支援教育における体制強化と指導の充実」の項目の③保護者自身の取組、「1 地域・家庭・学校が一体となった取組の推進」の項目の③保護者自身の取組であった。また、否定的回答が最も高かった（約25%）のも「1 地域・家庭・学校が一体となった取組の推進」の③保護者自身の項目である。